

## 病害虫発生予察情報(飛騨地域) 7月予報

### 【 水稲 】

#### 紋枯病

1か月予報では気温が平年並～高く、降水量が平年並～多いと予想されているため、本病の発病に好適な条件となる恐れがあります。昨年発生があった水田では、防除を実施してください。

#### 斑点米カメムシ類

予察灯への誘殺数は少なく推移していますが、一部圃場内のすくい取りで認められました。少なくとも出穂2週間前までに畦畔等周辺の草刈りを行い、カメムシ類を水田に近づけないようにしましょう。

### 【 野菜 】

#### トマト灰色かび病

1か月予報では降水量が平年並～多いと予想されており、発病に好適な条件となる恐れがあります。花がらや葉先枯れはすぐに除去し、予防剤によるローテーション防除を実施してください。

#### コナガ

高山市朝日町における5月1日～6月20日のフェロモントラップ誘殺数が449頭(平年262頭)と平年より多くなっています。薬剤抵抗性が発達しやすいため、ローテーション防除を実施してください。

### 【 果樹 】

#### モモせん孔細菌病

6月に広範囲のモモ栽培圃場において、葉上に病斑が認められました。風を伴った降雨により被害が急拡大する恐れがあります。発病圃場では、二次伝染防止のため防除を実施してください。

### ○主な病害虫の発生状況及び今後の予測(7月)

	病害虫名 (防除適期)	生育状況 発生量	発生時期及び防除適期						防除上の注意事項
			1半旬	2半旬	3半旬	4半旬	5半旬	6半旬	
水稲	生育(高山市)	並							(生育はコシヒカリ)
	葉いもち	並			<発生最盛期>				<b>葉いもち</b>
	紋枯病	並	<初発生>						BLASTAM発病好適条件(防除所HPで公開)の5～10日後に発病する。発生しやすい地域では防除を徹底する。
	斑点米カメムシ類	並	<畦畔雑草に発生(7月～)>						
	防除適期		▲←	葉いもち(初発前)		→▲			<b>斑点米カメムシ類</b> 一斉草刈り実施期間(7/10～20)に草刈りを実施する。
			▲←	紋枯病(穂ばらみ～出穂期)		→▲			
				▲一斉草刈り▲ (7/10～20)					
ホウレンソウ	べと病	やや多	<連続発生>						<b>べと病</b> 一部圃場で発病が確認された。感受性品種では発病に好適な時期になるため、薬剤による防除を必ず行う。高標高地域では梅雨明け後も感染しやすい温度が続くため注意する。
	防除適期		▲←	べと病(感受性品種、防除)				→▲	
トマト	灰色かび病	並	<発生盛期>						<b>灰色かび病</b> 花がらや葉先枯れは速やかに除去し、予防剤を散布する。多発してからの防除は困難なため、ハウス内をよく観察し、発生初期に防除を実施する。耐性菌が発生しないようにローテーション防除を実施する。
	防除適期		▲←	灰色かび病 (予防剤の散布、ローテーション防除)				→▲	
野菜全般	コナガ	多	<連続発生>						<b>コナガ</b> 薬剤抵抗性が発達しやすいため、同一系統薬剤の連用は避ける。
	アブラムシ類	並	<連続発生>						
	防除適期		▲←	コナガ(ローテーション防除)				→▲	
			▲←	アブラムシ類(防除)				→▲	<b>アブラムシ類</b> 高温乾燥が続くと多発する。ウイルス病を伝染するので防虫ネット・シルバーマルチで飛来を抑制する。

注) ▲、▲←→▲: 防除適期

	病害虫名 (防除適期)	生育状況 発生量	発生時期及び防除適期						防除上の注意事項
			1半旬	2半旬	3半旬	4半旬	5半旬	6半旬	
果	生育(高山市)	やや遅							(生育はモモ) <b>シンクイムシ類</b> 心折れ枝の多かった圃場では、果実への食入に注意する。
	シンクイムシ類 (特にナシヒメシンクイ)	少	第2世代 <幼虫最盛期>						
	カメムシ類	やや少	<越冬世代成虫>						
樹	せん孔細菌病(モモ)	多	<感染拡大期>						<b>カメムシ類</b> 飛来状況に注意し、夜温が上がる直前など適期防除につとめる。 <b>せん孔細菌病</b> 発病が確認された園では、本病に登録がある薬剤を選んで防除を行う。
	防除適期		▲← シンクイムシ類(防除) ▲ ▲← カメムシ類(果樹園飛来時) →▲ ▲← モモ せん孔細菌病 →▲						

注) ▲、▲←→▲: 防除適期

### 調査データ

表 平成29年6月のBLASTAMIによるいもち病の発病条件

日付	萩原	宮地 (下呂)	金山	高山	白川村	六蔵 (荘川)	宮之前 (朝日)	河合	神岡	栃尾 (上宝)
6/1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/2	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-
6/3	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-
6/4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/5	-	-	-	-	-	?	-	-	-	-
6/6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/8	△	△	◎	△	-	○	○	◎	△	○
6/9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
6/10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/11	-	○	-	○	-	-	○	-	-	-
6/12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/21	-	-	-	-	-	-	△	-	-	△
6/22	-	-	◎	-	-	-	△	-	-	△
6/23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/26	-	●	-	-	◎	○	-	-	△	-

- 凡例 △: 準好適条件 ( 湿潤時間10時間以上だが、前5日間の平均気温は20℃未満)  
 ▲: 準好適条件 ( 湿潤時間10時間以上だが、前5日間の平均気温は25℃以上)  
 ○: 準好適条件 ( 湿潤時間10時間以上だが、湿潤期間の平均気温は15~25℃の範囲外)  
 ◎: 準好適条件 ( 湿潤期間が湿潤時間中の平均気温ごとの必要な時間より短い)  
 ●: 好適条件 ( 湿潤時間中の平均気温が15℃~25℃であり、湿潤時間が湿潤時間中の平均気温ごとに必要な時間を満たし、当日を含めてその日以前5日間の日平均気温の平均値が20℃~25℃の範囲にある)  
 -: 好適条件、準好適条件は満たされなかった

\* 感染好適条件が現れると感染し、潜伏期間 (5~10日) を経て発病します。

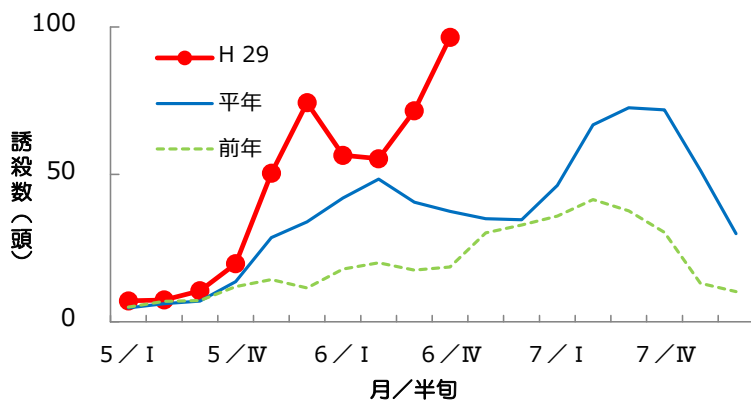


図3 フェロモントラップによるコナガ誘殺数の推移 (高山市朝日町)

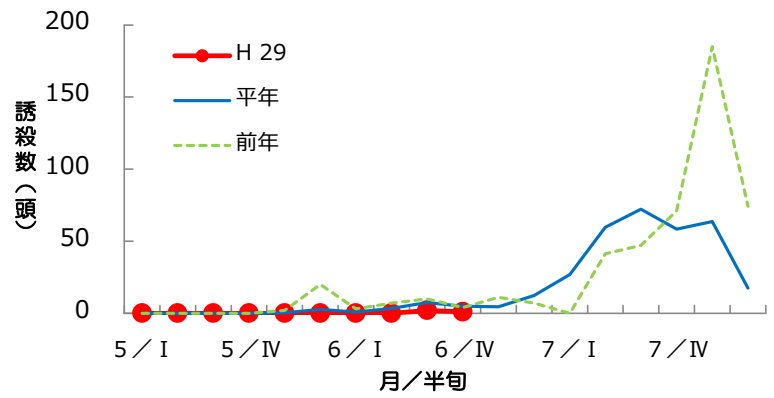


図1 予察灯による斑点米カメムシ類 (全種合算) 誘殺数の推移 (高山市国府町)

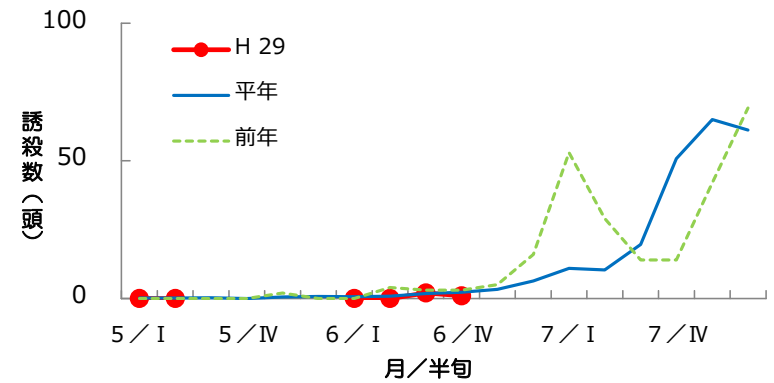


図2 予察灯による斑点米カメムシ類 (全種合算) 誘殺数の推移 (下呂市萩原町) ※5月第3半旬~第6半旬は欠測

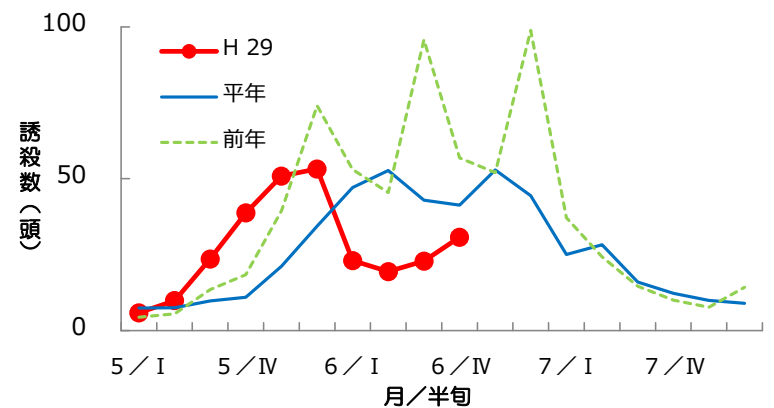


図4 黄色水盤によるアブラムシ類誘殺数の推移 (高山市下林町)

### 6~8月は「農薬危害防止期間」です。

農薬の適正な使用、保管管理に努め、農薬を散布する場合は、周辺に栽培されている作物のみでなく、住宅地等を含めて飛散がないよう、十分に配慮してください。

### 東海地方1か月予報 (名古屋地方気象台 6月22日発表)

向こう1か月の気温は平年並~高く、降水量は平年並~多く、日照時間は平年並~少ないと予想されます。天気は、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。

岐阜県病害虫防除所では、この他に病害虫の詳細な調査データをホームページにて公開しています。

<http://www.pref.gifu.lg.jp/sangyo/nogyo/gifu-clean/24321/>

飛騨支所 〒506-8688 高山市上岡本町 7-468 TEL (0577) 33-1111(内線 245) FAX (0577) 34-2706